

自殺未遂者等支援事業

＝警察・消防・医療機関との情報共有からはじまる未遂者支援＝

(実施期間) 平成 26 年度～

(基金事業メニュー) ー

(実施経費) ー

(実施主体) 石川県能美市

【事業の背景・必要性】

自殺未遂者の4割以上が過去に自殺未遂の経験を有するとの調査結果（横浜市立大学精神医学教室自殺未遂者実態調査：平成19年）もあることから、再発防止のためにも自殺未遂者に対する支援体制の整備は喫緊の課題となっている。石川県でも、平成21年度より自殺未遂者支援体制整備事業に取り組んできたが、実際には行政において対象者の把握が困難であり、警察・消防・医療機関等の関わった機関で支援が途切れていることが多い現状であった。そこで、地域で実践するには、関係機関の実践者レベルによる有機的な連携体制の構築が重要であると考え、当市が中心となり自殺未遂者の支援体制ネットワークを検討することとした。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

能美市は石川県の南部、加賀平野のほぼ中央に位置し、県都金沢へは北東約20kmの距離にある。海・川・山・平地に恵まれた、非常に豊かな地勢である。能美市は日本の代表する焼き物である九谷焼の生産中心地である。

石川県における自殺者数は、「人口動態統計」によると、近年、減少傾向にある中、能美市は増減を繰り返しながら10人前後で推移している。

平成26年の自殺者数は11人（警察庁発表：確定値）と対前年比4人減少した。性別では、男性が82%、女性が18%。年代別では、60歳代がもっとも多く全体の36.3%、次いで40歳代の順である。近年の傾向として、男性では40歳代以下に、女性では60歳代以上に増加傾向がみられる。

総人口(平成26年4月現在)	年齢3区分別人口(割合)		
	年少(0～14歳)	生産(15～64歳)	老年(65歳以上)
49,648人	7,841人(15.79%)	30,290人(61.0%)	11,517人(23.2%)

(出典：平成26年度版 能美市統計書)

●自殺者数の状況（厚生労働省人口動態統計、石川県衛生統計年報）

		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
自殺者数(人)	能美市	9	10	11	10	9	7	14
	石川県	257	239	254	261	261	241	204
自殺死亡率 (人口10万対)	能美市	19.1	21.1	23.1	20.9	18.8	14.5	29.1
	石川県	22.2	20.7	22	22.5	22.6	20.9	17.8

【事業目標 事業内容】

(事業目標) ①警察・消防・医療機関・行政それぞれの顔の見える関係を築くことができる。②自殺未遂者支援にあたり、それぞれの機関の立場でできること・できないことを共通認識できる。③②を

7 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ③

踏まえた上で、これまで水面下にある自殺未遂者支援の有効な支援体制を築くことができる。

(事業内容) 検討会を2回実施。(9・12月)

◆第1回目：検討会の趣旨説明・参加者紹介/救急出動の現状について/各機関からの対応事例紹介
今後の自殺未遂者支援について意見交換

* 関係機関に相談窓口のチラシやカード配布

◆第2回目：前回の振り返り/自殺未遂者や家族の同意のあり方について/今後の検討会に向けて

【事業実施にあたっての運営体制】

- ・能美市が主催で、隣接する川北町や南加賀保健福祉センター（県保健所）の協力を得て検討会を開催した。
- ・検討会には、能美市、川北町を管轄する警察や消防、圏域の医療機関3ヶ所にも参加を依頼した。

【事業の工夫点】

- ・管轄圏域内の多職種が一堂に会し自殺未遂者の支援について、それぞれの立場で意見交換することで、現状の問題や課題を共通認識し、実効性のあるネットワークづくりの契機とした。
- ・複数の悩みを抱えている当事者に対して、一歩踏み込んだ支援が提供できるツールとして、南加賀保健福祉センターが作成した「悩みの問診票」や「つなぐシート」を活用し、円滑に相談が受けられるようにした。
- ・当事者が適切な相談窓口につながるよう、相談窓口一覧チラシを各相談機関に配布した。

【事業成果及び評価、今後の課題、その他特筆すべき点】

- ・自殺未遂者支援に従事する関係者が顔を合わせ、意見交換することで、日常の業務では知り得なかった現状や課題を共有することができ、関係従事者の意識が高まり、自殺未遂者支援の原動力になった。
- ・圏域の医療機関3ヶ所には精神科がなく、医療従事者はうつ状態の患者や悩みを抱えた患者の対応に苦慮していたが、検討会に参加することで支援方法を学ぶ機会になったとの意見が聞かれた。
- ・今後も定期的に検討会を開催し、当事者から支援の同意が得られたケースは、具体的な支援体制や関係機関の連携のあり方について検討していく。また、支援を拒否する当事者についても、専門家の助言等を得ながら介入方法や支援のあり方等について検討していきたい。
- ・今回、検討会の中で、関係機関の職員に対するゲートキーパー研修の要望があったため、次年度は、警察や消防、医療機関等の関係者を対象にしたゲートキーパー研修を開催し、スキル向上にも取り組んでいきたい。

(問合せ先) 石川県 能美市役所 福祉課

TEL: 0761-58-2230

E-mail: fukushi1@city.nomi.lg.jp

URL: <http://www.city.nomi.ishikawa.jp>